事故報告書の運用方法等の見直しについて
（令和３年度より継続）

① 事故報告書の様式変更について

介護保険施設及び事業所において、サービスの提供により事故が発生した場合には、速やかに家族等に連絡を行うとともに、市町村への事故報告書の提出が必要とされています。

令和３年度、厚生労働省より標準となる事故報告様式が示されました。国からの通知に伴い、事故報告書の運用方法等の見直しを行いましたので、適切にご対応くださいますようお願いします。

〇事故報告を要する範囲

① 利用者が死亡する事故が発生した場合
② 医師の診断を受け何らかの治療が必要となった事故の場合
③ 家族とのトラブルになっている場合や、虐待、犯罪行為に関するもの
④ その他、各事業所で提出が必要と判断する場合

〇提出期限について

第１報は少なくとも別紙様式内の１から６の項目までについて可能な限り記載し、
事故発生後速やかに、遅くとも５日以内を目安に提出すること。
その後、状況の変化等必要に応じて追加の報告を行い、「7 事故の原因分析」及び「8 再発防止策」等について作成し、提出すること。

※上記に関わらず、緊急かつ重大な事故が発生した場合については、概ね 24 時間以内に事故報告書を作成し、ご提出ください。（例：事件性が疑われる死亡事故、虐待が疑われるもの、家族と重大なトラブルになっているもの、犯罪行為に関するもの等）

---

② 介護サービス事業者のための危機管理マニュアル作成指針について

介護保険施設及び事業所は、サービスの提供にあたり、危機の未然防止並びに危機発生時の対応を定めなければなりません。

川口市では、危機管理のポイントを整理した「介護サービス事業所のための危機管理マニュアル作成指針」を作成しましたので、既存のマニュアルを見直す場合等の参考にしてください。

川口市　介護保険課　事業者係
ＴＥＬ：０４８－２５９－７２９３（直通）

事故報告書　（事業者→川口市）

提出先メールアドレス：087.04030@city.kawaguchi.saitama.jp

※第１報は、少なくとも1から6までについては可能な限り記載し、事故発生後速やかに、遅くとも５日以内を目安に提出すること
※選択肢については該当する項目をチェックし、該当する項目が複数ある場合は全て選択すること

☐ 第1報　☐ 第＿＿報　☐ 最終報告

提出日：　年　月　日

1事故状況	事故状況の程度	☐ 受診(外来･往診)、自施設で応急処置　☐ 入院　☐ 死亡　☐ その他（　）										
	死亡に至った場合 死亡年月日			年		月		日				
2事業所の概要	法人名											
	事業所（施設）名								事業所番号			
	サービス種別											
	所在地											
3対象者	氏名・年齢・性別	氏名				年齢			性別：	☐ 男性　☐ 女性		
	サービス提供開始日			年		月		日	保険者			
	住所	☐ 事業所所在地と同じ　☐ その他（　）										
	身体状況	要介護度	☐ 要支援1	☐ 要支援2	☐ 要介護1	☐ 要介護2	☐ 要介護3	☐ 要介護4	☐ 要介護5	☐ 自立		
		認知症高齢者 日常生活自立度	☐ Ⅰ	☐ Ⅱa	☐ Ⅱb	☐ Ⅲa	☐ Ⅲb	☐ Ⅳ	☐ M			
4事故の概要	発生日時			年		月		日		時		分頃（24時間表記）
	発生場所	☐ 居室（個室）　☐ 居室（多床室）　☐ トイレ　☐ 廊下 ☐ 食堂等共用部　☐ 浴室・脱衣室　☐ 機能訓練室　☐ 施設敷地内の建物外 ☐ 敷地外　☐ その他（　）										
	事故の種別	☐ 転倒　☐ 異食　☐ 不明 ☐ 転落　☐ 誤薬、与薬もれ等　☐ その他（　） ☐ 誤嚥・窒息　☐ 医療処置関連（チューブ抜去等）										
	発生時状況、事故内容の詳細											
	その他 特記すべき事項											
5事故発生時の対応	発生時の対応											
	受診方法	☐ 施設内の医師(配置医含む)が対応　☐ 受診(外来･往診)　☐ 救急搬送　☐ その他（　）										
	受診先	医療機関名						連絡先（電話番号）				
	診断名											
	診断内容	☐ 切傷・擦過傷　☐ 打撲・捻挫・脱臼　☐ 骨折(部位：　) ☐ その他（　）										

	検査、処置等の概要									
6 事故発生後の状況	利用者の状況									
	家族等への報告	報告した家族等の続柄	□ 配偶者	□ 子、子の配偶者	□ その他（　　）					
		報告年月日			年		月		日	
	連絡した関係機関(連絡した場合のみ)	□ 他の自治体 自治体名（　　）	□ 警察 警察署名（　　）	□ その他 名称（　　）						
	本人、家族、関係先等への追加対応予定									

7 事故の原因分析 （本人要因、職員要因、環境要因の分析）	（できるだけ具体的に記載すること）
8 再発防止策 （手順変更、環境変更、その他の対応、再発防止策の評価時期および結果等）	（できるだけ具体的に記載すること）
9 その他 特記すべき事項（家族とトラブルが発生している等）	

令和４年度介護保険サービス事故報告集計

令和4年度中の事故報告集計は下記のとおりです。令和3年度と比較いたしますと、増加傾向にあります。
事故内容としては、転倒・転落による骨折及び外傷が一番多く、危険度の高いものとしては「誤薬」が38件あり、毎月報告されております。また、次に報告が多い内容で「誤嚥」が13件報告されており、中には死亡事故となっているケースもあります。
他人の薬と取り違えて服薬すると最悪の場合、死亡事故に至る恐れがあります。必ず飲む前の利用者の名前の確認や飲む薬の種類と数の確認を怠らないようにしていただき、誤嚥については、窒息や誤嚥性肺炎を起こす原因となる可能性がありますので、適切な食事介助をお願いいたします。
これらの事故に対する適切な再発防止策を都度ご検討いただき、事故の未然防止や再発防止に努めていただくとともに、万が一発生してしまった事故につきましては、早急に介護保険課事業者係までご報告いただきますよう宜しくお願いいたします。

○月別報告件数

月	Ｒ３件数	Ｒ４件数	増減
４月	74	58	−16
５月	56	69	13
６月	44	76	32
７月	67	41	−26
８月	69	62	−7
９月	61	59	−2
１０月	66	52	−14
１１月	82	56	−26
１２月	82	67	−15
１月	58	84	26
２月	46	80	34
３月	60	72	12
計	765	776	11

○内容別報告件数の推移

内容	Ｒ３		Ｒ４		件数増減
	件数	割合	件数	割合	
転倒	425	55.6%	403	51.9%	−22
転落・滑落	45	5.9%	41	5.3%	−4
誤薬	40	5.2%	38	4.9%	−2
与薬漏れ・落薬	17	2.2%	20	2.6%	3
異食・誤嚥・窒息	16	2.1%	20	2.6%	4
不明	99	12.9%	98	12.6%	−1
その他	123	16.1%	156	20.1%	33
総計	765		776		

○サービス別報告件数の推移

サービス種別	Ｒ３		Ｒ４		件数増減
	件数	割合	件数	割合	
特定施設	322	42.1%	329	42.4%	7
特養	226	29.5%	216	27.8%	−10
老健	21	2.7%	21	2.7%	0
グループホーム	46	6.0%	40	5.2%	−6
通所介護	34	4.4%	42	5.4%	8
サ高住	33	4.3%	54	7.0%	21
住宅型有料	19	2.5%	16	2.1%	−3
その他(訪問系サービス等)	64	8.4%	58	7.5%	−6
計	765		776		11

○症状別報告件数の推移

症状	Ｒ３		Ｒ４		件数増減
	件数	割合	件数	割合	
骨折	466	60.9%	432	55.7%	−34
異常なし	102	13.3%	95	12.2%	−7
裂傷	28	3.7%	58	7.5%	30
死亡	56	7.3%	70	9.0%	14
打撲	28	3.7%	37	4.8%	9
その他(皮下出血・軽度の切傷等)	85	11.1%	84	10.8%	−1
計	765		776		11